

華墨の誦はる金古清遠大  
 賀一をいふは、小生は幸いなり  
 下地より枚念あるは、書面は  
 小生は方上、問題に付ては、校、利  
 宜く、関心入進する為方なり、趙公  
 明、古事、或、抑、個人、下、  
 石、  
 就、  
 様、  
 校、長、  
 下、存、  
 可、  
 周、  
 公、  
 明、  
 取、  
 共、  
 市、  
 大、

小樽高等商業学校

校の長トシテ古配書、次、  
 下存し大に忍編、  
 可根下、  
 周田、  
 公人、  
 明、  
 取、  
 共、  
 市、  
 大、





他校に比して多額を其内より費め  
 生計書ノ購入ヲ洋書に比し少く其  
 多量を以て用ひたりは法は上ノ音  
 幾度申す所なりけり研究資料ノ頗  
 多キヲ要する大學生職ノ研  
 生活費ノ割キト可成多クノ書  
 ヲ買ヒ求メス其之ヲ其得給ノ身  
 殊ニ子供教育に及ビ其ノ其義  
 甚クシテ其開口は其ノ其義  
 亦校や致す中ノ一人下とテ少  
 望ハ可成多ク其他ノ同僚諸君ノ好

小樽高等商業學校

意多シク不肖ノ身事ニ其任ヲ尽ス  
 得目ハ大幸ト存トシ之カ為メハ  
 其殿ノ不相愛ス好ミ以テ其持守  
 亦尽力ナリ事ヲ令テ期トテ其  
 進ラハシムル事ヲ申上ルコトハ只今  
 予ハ余ノ不能トシ洋書中一政  
 ノ生活ヲ見詰メ國人ノ思想ヲ接  
 申ス身ノ所成何カト多ク申上ル





己正申一美 社云カ社云タカカ如ク  
 個人を個人タシク得ル其生活ノ意義  
 人々トシテ強ク不平ヲ唱フ一平ニシテ  
 ラスト有居、小生ハ決シテ自己ノ主觀  
 的ノ評價ヲ標準トシテ社云ト對シ、  
 生ノ適當ナル待遇ヲ受ケトシテ望  
 ムモノニテハ善ク美ク生活スル不平ヲ  
 唱フル事ニテハ善ク之ハ小生ノ態度カ  
 他人ト不平ラシキ相見エ美義有之  
 美ツ、夫ハ胸中百千ノ疑問ヲ抱  
 キテ解決ト苦ミシ小生ヲ外問ヨリ  
 見テ想像タシク過キルト申シテ然ルハ  
 小生ハ昔々少若漢詩ヲ讀ミ中ハ為シ  
 動カスルハ白眼世ヲ看ル一癖有之候  
 人ノ小生ヲ不平ト申スル其大ナル誤  
 解トシテ、話カトモ思ハシ美  
 大胆ト有ル如ク所思披陳仕テ一トモ  
 一向ト要領ヲ得ル中ハ之平何人ニ  
 抱持スル所ニテ又何人ニ捕提シ生キ  
 世觀ヲルカ為ルコト生ハ之平也其間

願くは聞ては貴校の素一感ラニワ及ホ  
申美共キ校ノ為ニ何事ノ好害ヲモ  
更ケクハ身ノキ校ニ對シテ校ハ所存  
之ニキ道理ニキモハ似コトモ志ヲ得ル  
トスルニ為ルキ校ヲ煩リスニトハ少キ  
モ井ノ所ノ者、ソレニモ少キノ人格ノ思  
想トカキ校ノ風潮ニ高セザンカキニト  
有之ハソノ宜敷少少ノ意ホ衆自ラ匡  
正ルガ又た之をナキコトナラハ事  
レヲ少キノ自由ニ校任スルニトナラヤ  
也

小樽高等商業學校

其輪ノ揚ミテ、願ハ少少ノ者ニ  
自ラモ答ラキハ、知ラズキ  
トナリ書キ綴ラハ、少少ノ者ニ  
ハ而シテ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ  
ト解コトハ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ  
初信ニシテ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ  
ト亦、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ  
トモ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ  
自ラ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ、少少ノ者ニ

古事記事の少波の古事記事  
為事記事の右の事記事  
事記事

十日

巳

何事記事



小樽高等商業學校



仁保氏用

持世者、陽を以て事財を以て也、凡諸王を以て之  
為私財、此は持世者、ト云々、是は伴氏之件、昨白  
之、勢、持世、於之在り、勅命、之、ト、決定、之、合、時、也、  
之、事、引、之、至、其、從、之、者、之、以、所、中、之、事、向、之、  
之、於、之、内、也、之、持、用、之、上、之、何、卒、曰、也、之、名、是、由、持、之、也、  
持、引、之、心、持、之、所、之、地、望、之、者、之、之、思、之、也、之、所、之、報、  
之、之、事、之、所、之、也、之、事、之、也、

三月九日  
事部持神子  
仁保龜松

持世持名殿